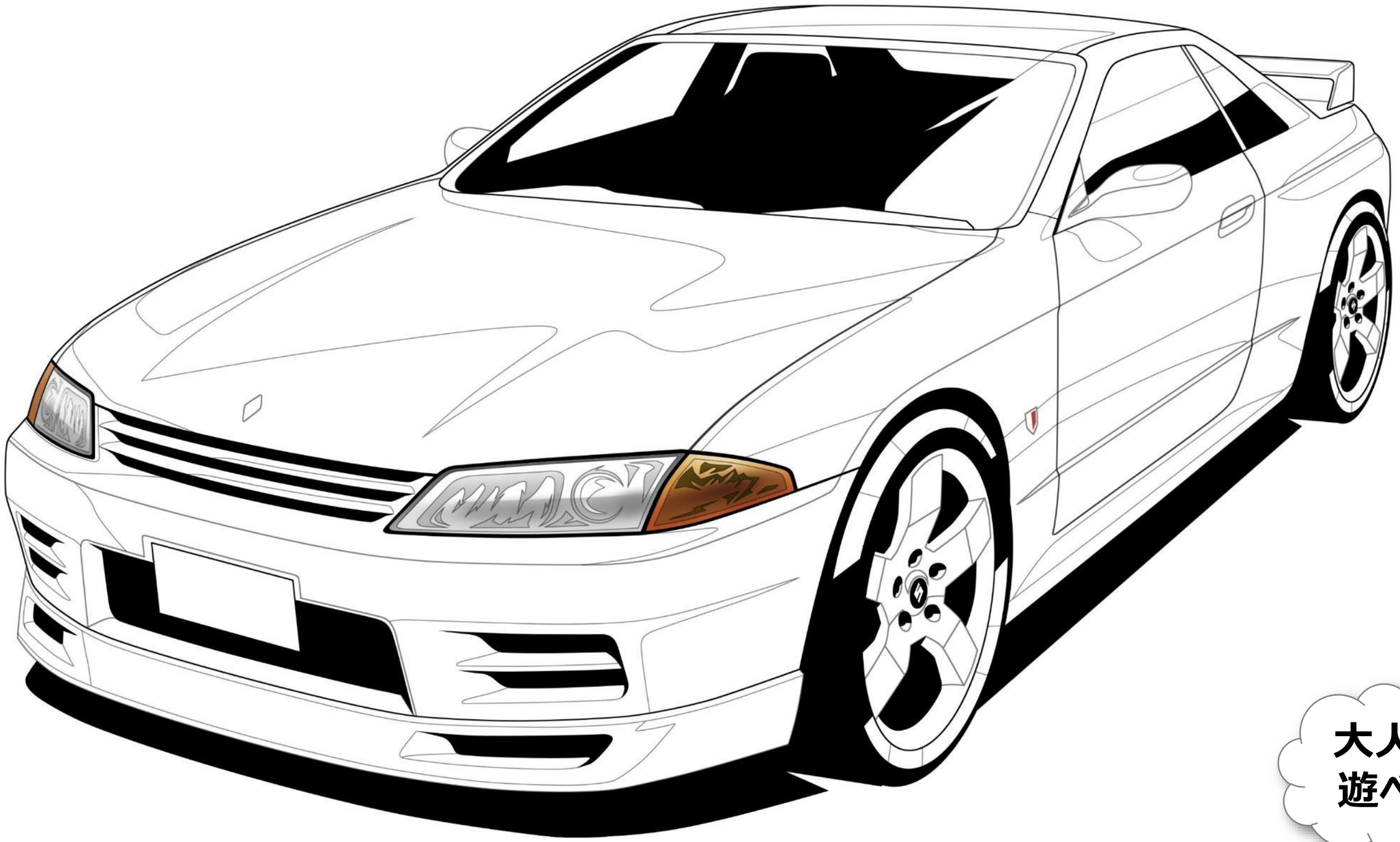


大人も
遊べる

日産デザイン
わくわくスタジオ

特製★ぬりえキット

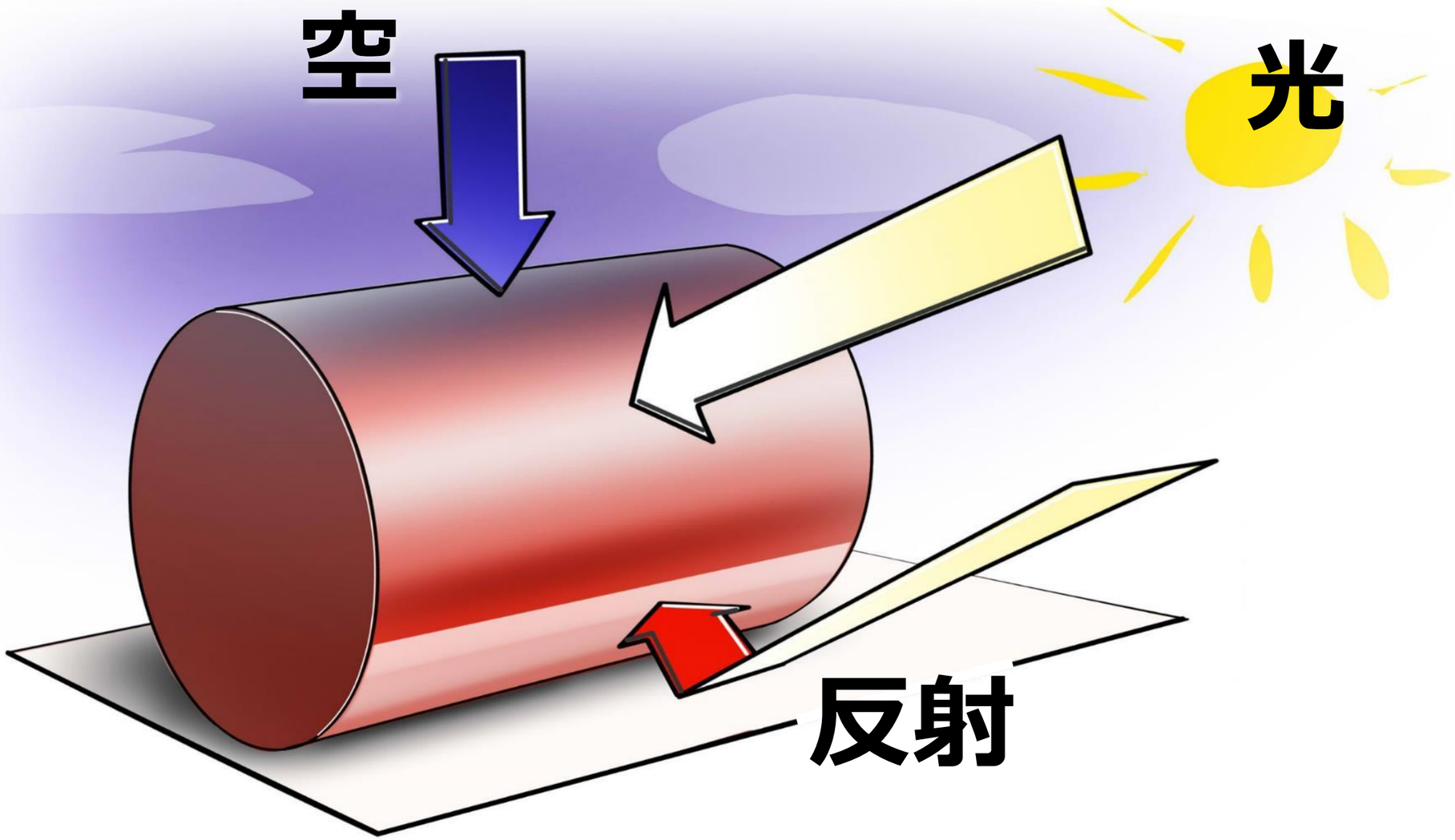
日産のデザイナーが、こんなリアルなかんじに塗るテクニックを伝授するよ！

日産 スカイライン GT-R

NISSAN SKYLINE GT-R

プロのデザイナーのぬり方：リフレクションレンダリングとは？

クルマのような反射するモノは、つねにまわりの風景を表面に反射（＝リフレクション）しています。デザイナーは、クルマのようなモノを描くときには、周りの風景の色をわざとボディ映しこませて描くことで、立体的に見えるように描きます。上の面には空の青色、斜めの面には太陽の明るい白色、下を向いた面には、道路などの地面が反射したように描きます。



道具の準備：プロのデザイナーはこんな道具を使っているよ！

基本はこの3つがあればOK！

マーカー

色も明るさもたくさんのバリエーションがあり、ムラなく早くぬることができます。プロ用のマーカーは画材店や、アニメショップでも購入できます。100円ショップにも売っています。まずは、同系色で明るさ違いの3色を用意してみよう！

色鉛筆

下絵を描いたり、細かなところや、光ったところは色鉛筆で書いていきます。使いこなすことで濃淡を自在につけられるので、時間を掛ければ万能の活躍をします。下絵は濃い青で描くことが多いよ！

パステル

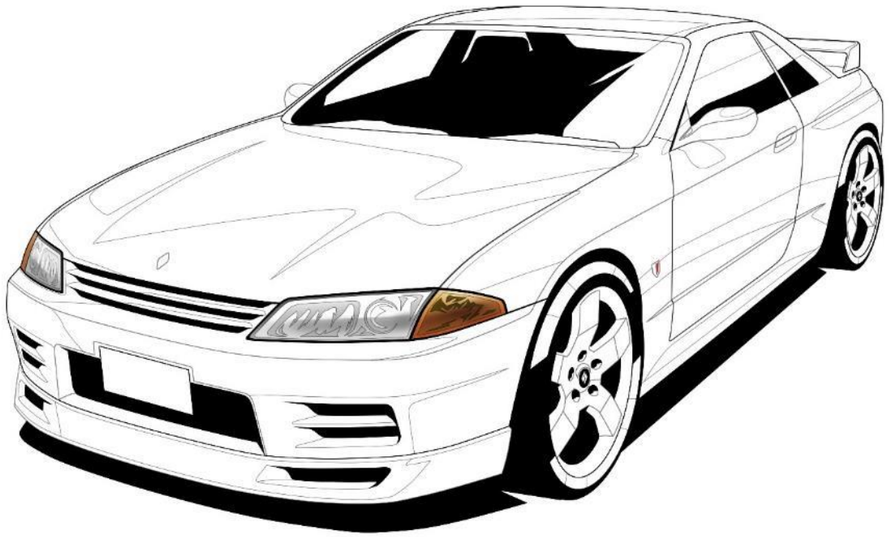
色鉛筆と同じように、ボカシながら塗ることでスケッチの表面に柔らかく豊かな面を表現できます。マーカーと併用することで、写真のようにリアルな表現が出来ます。カッターの先でパウダー状にして、ベビーパウダーと混ぜて使用します。100円ショップにも売ってるよ！

ぬりえの描き方：たった4色のマーカーで、立体的に見える！

明るさの違う4色のマーカーを使って、色を塗り分けてみよう！きれい塗ると、立体的に見えるようになるよ！

同じ色で明るさ（うすさ）が
ちがうマーカーを4色使います

C2	C4	C6	C8
Cool Gray No.2	Cool Gray No.4	Cool Gray No.6	Cool Gray No.8
うすい色	中くらいの色	濃い色	陰の色

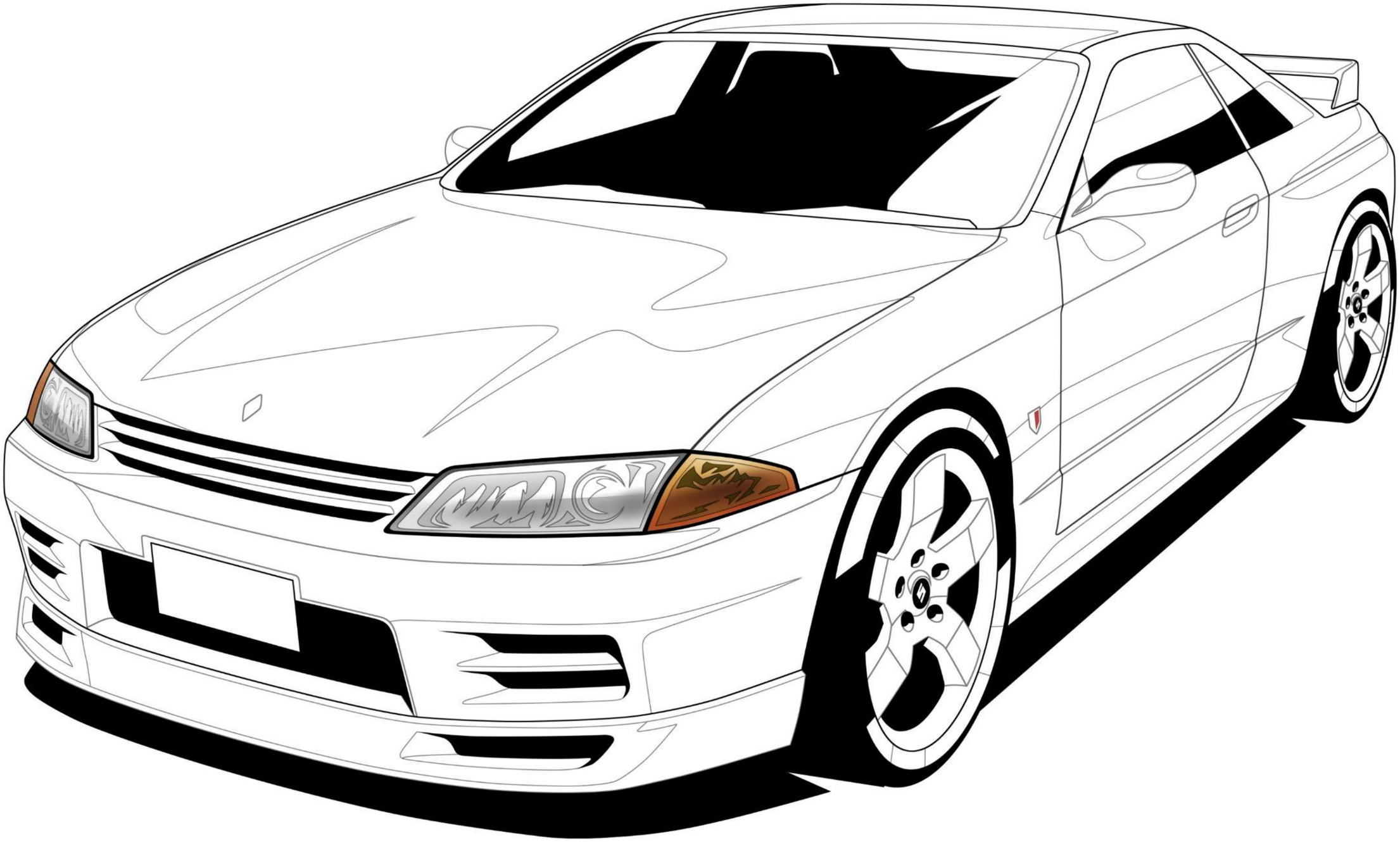


ぬりえ 下絵

完成イメージ

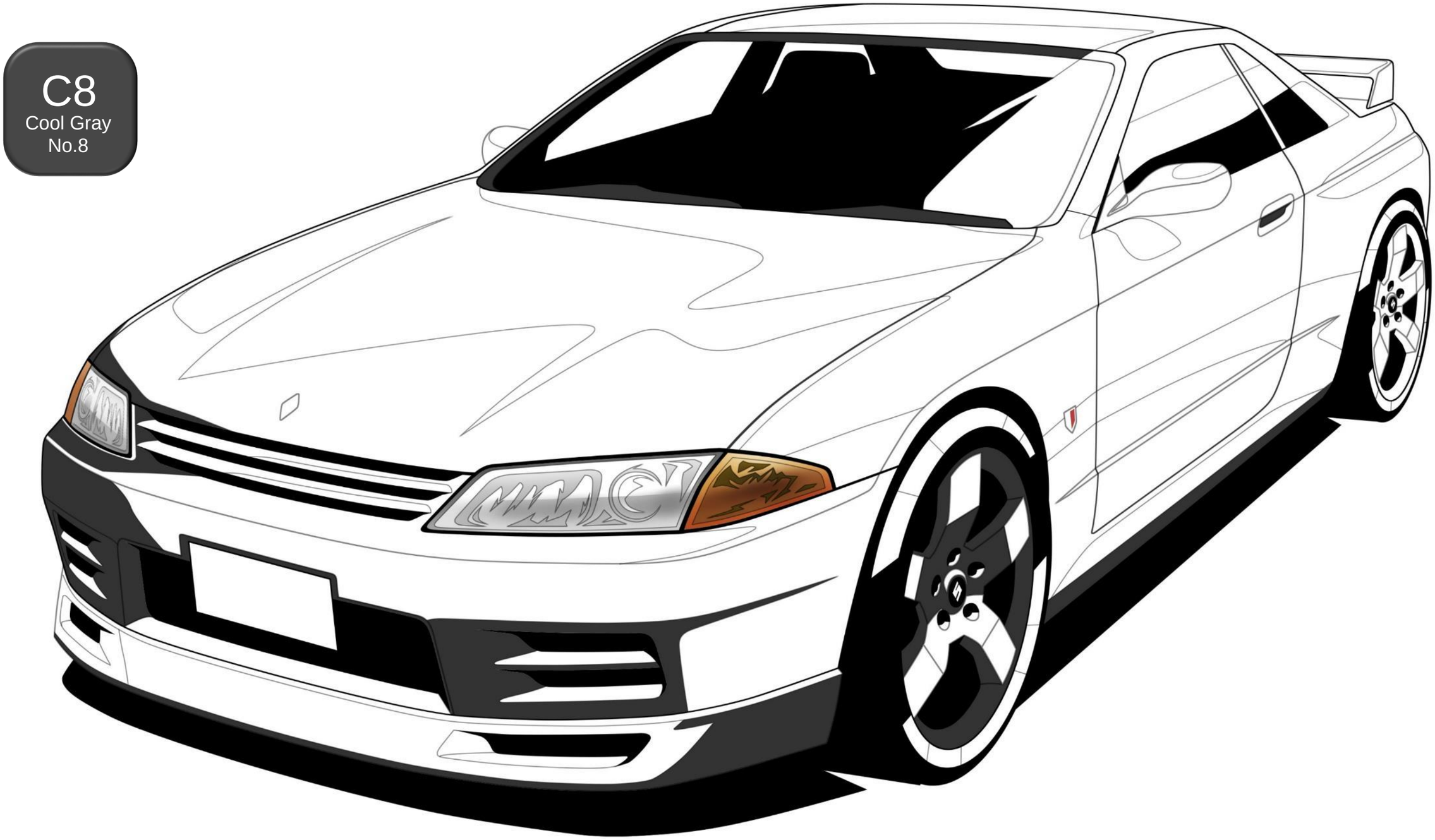
準備はいいかな？

表面のぬり分け面に沿って、4色のマーカーを使って描いてみよう！



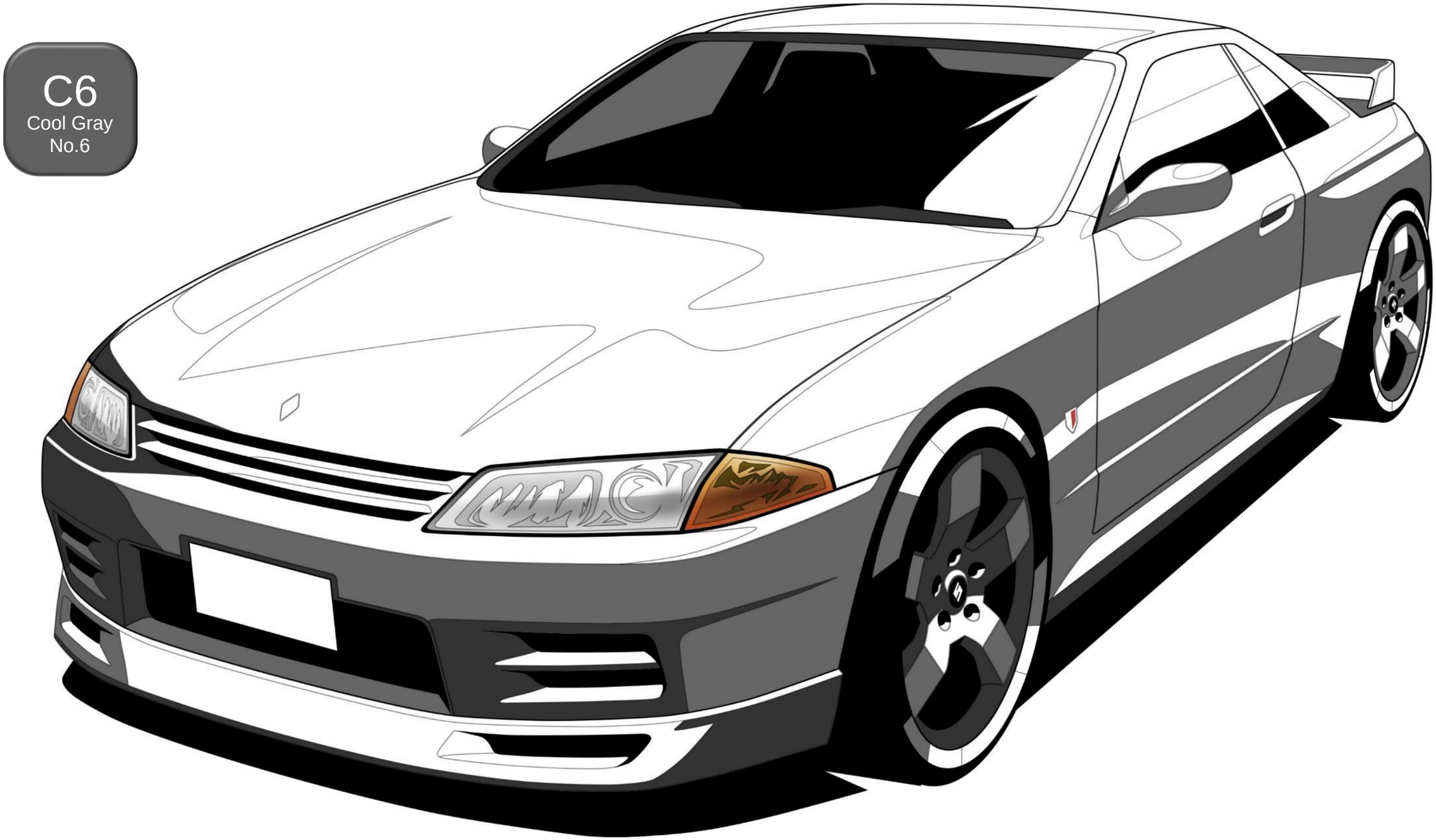
①　まずは 陰の色 をぬってみよう！

光が当たらない、下を向いた面だから、ちょっと暗いんだね。



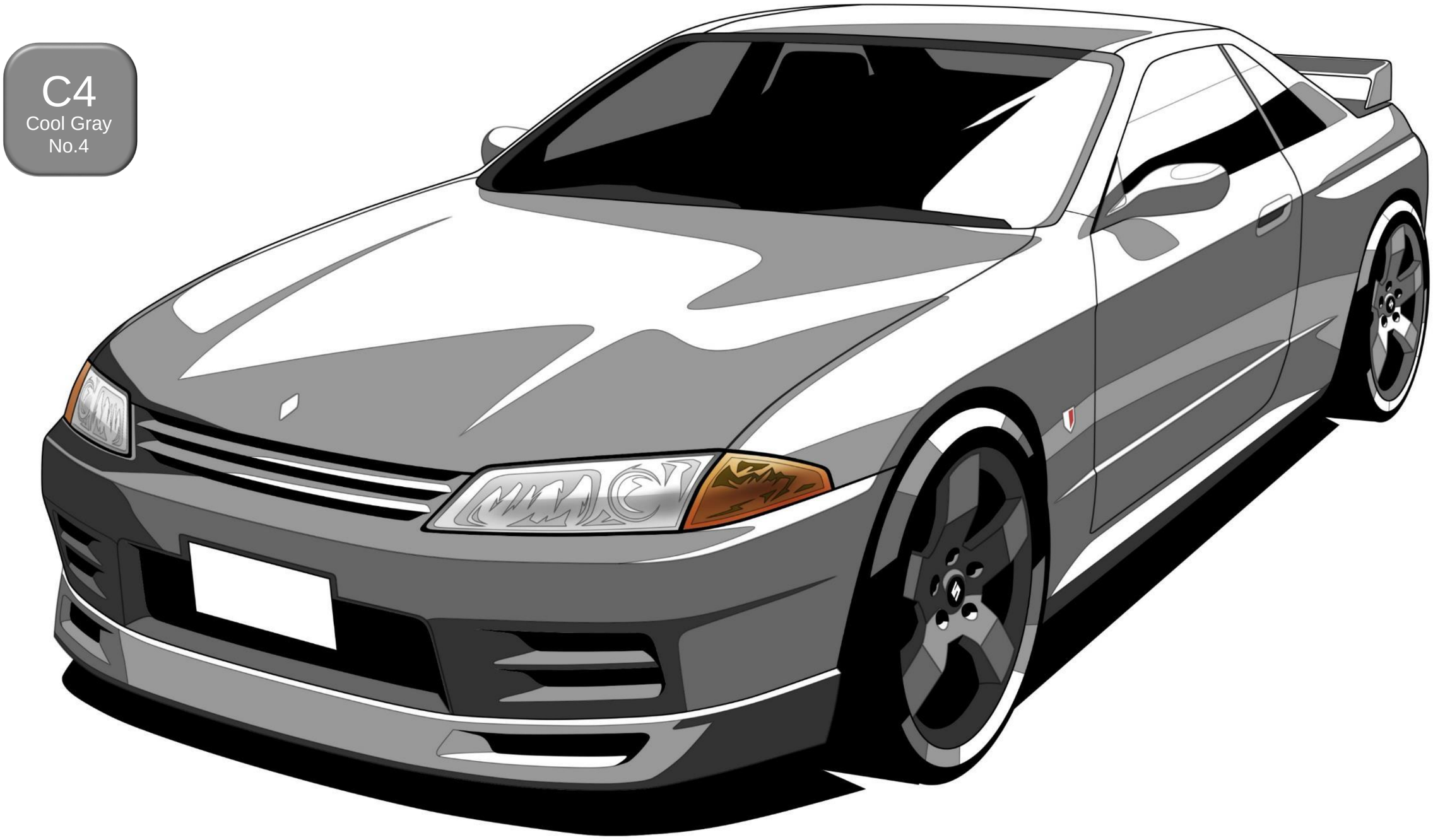
② つぎに 濃い色 をぬってみよう！

ここが正しいボディ色になります



③　つぎは 中くらいの色 をぬってみよう！

細かいところは、マーカーの細い方を使うといいよ！

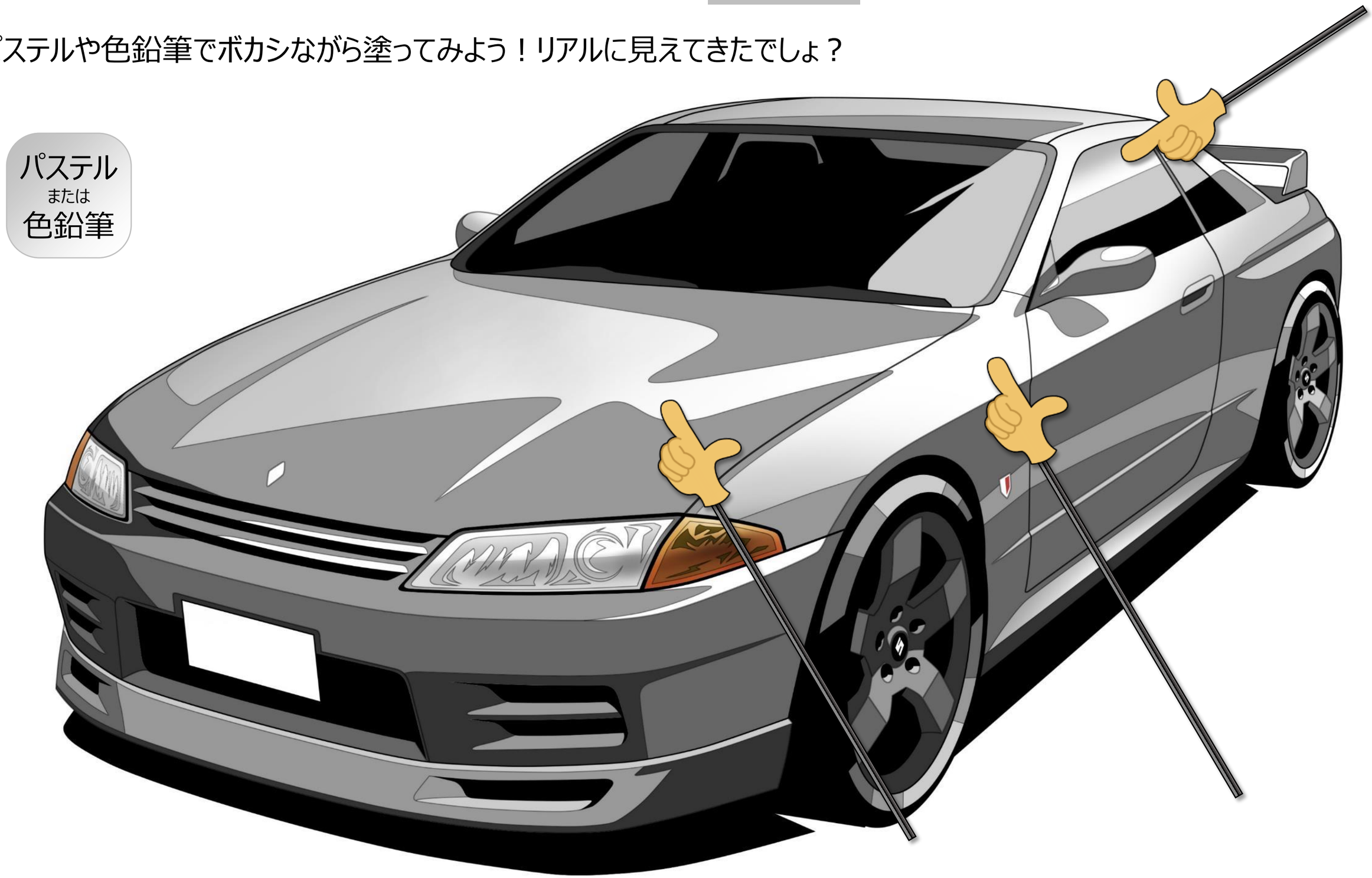


④　最後に うすい色 をぬってみよう！

ちょっとくらいはみ出てもいいから、大きく手を動かしてぬってみよう！どう？立体的に見えてきたでしょ？

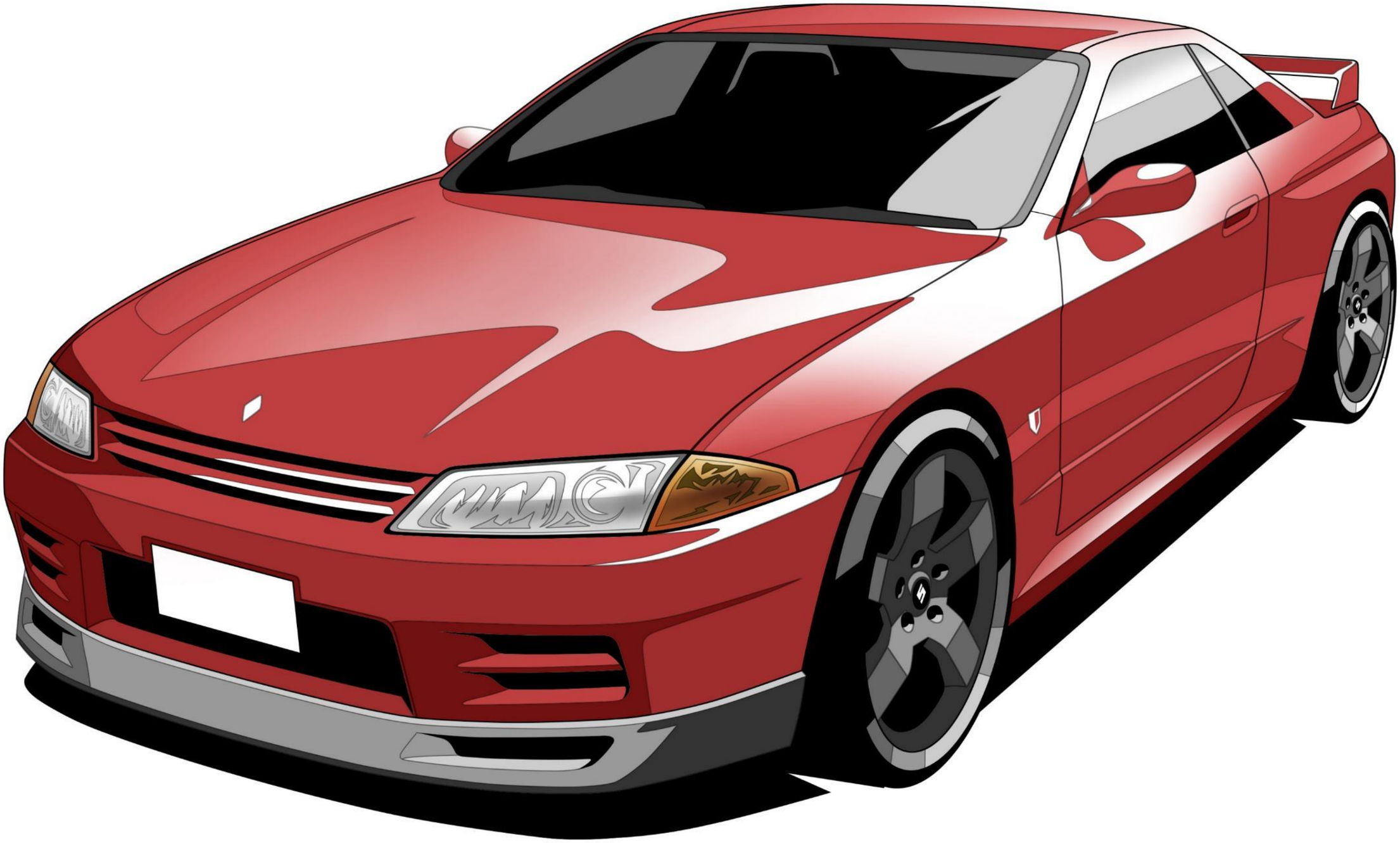
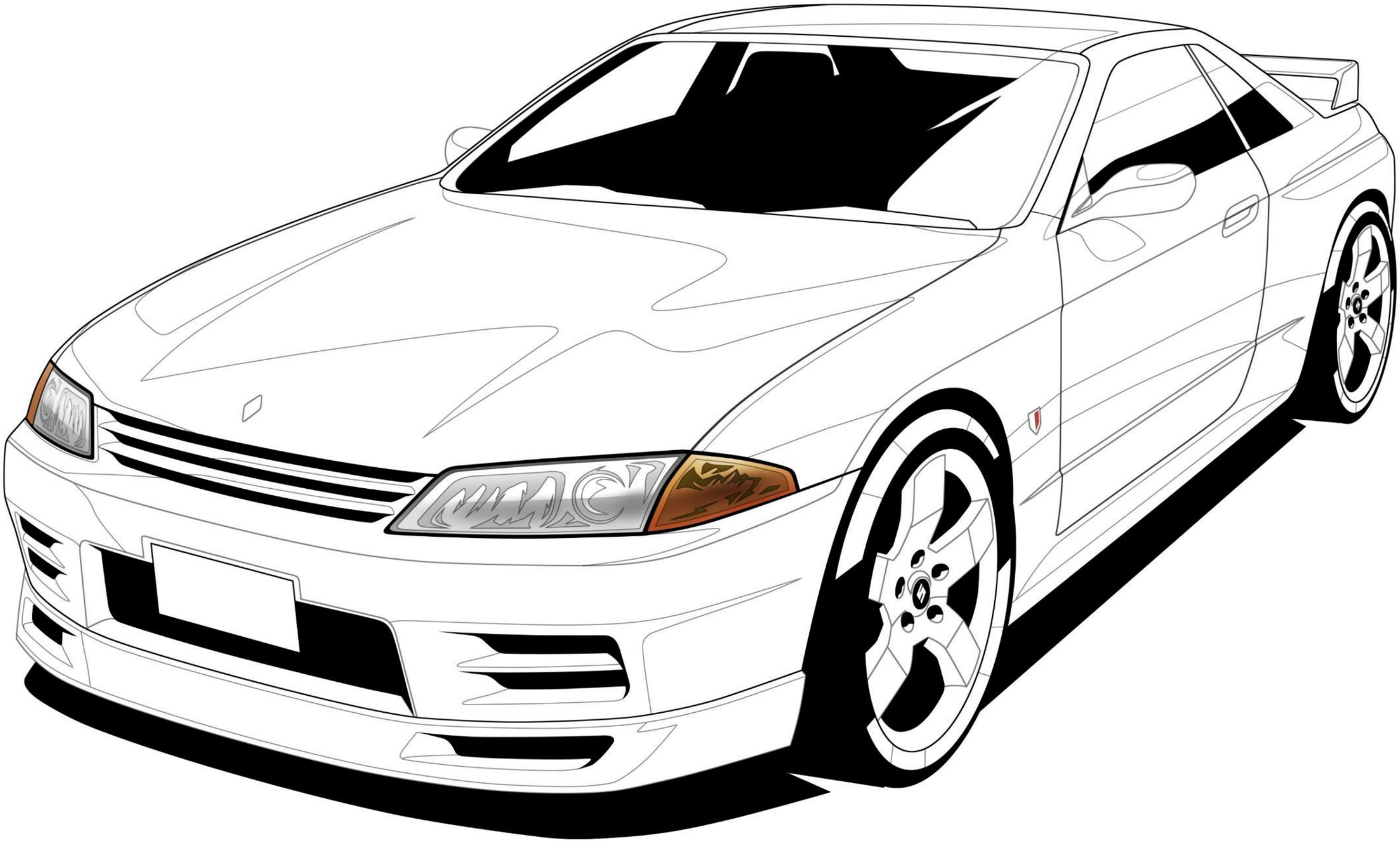
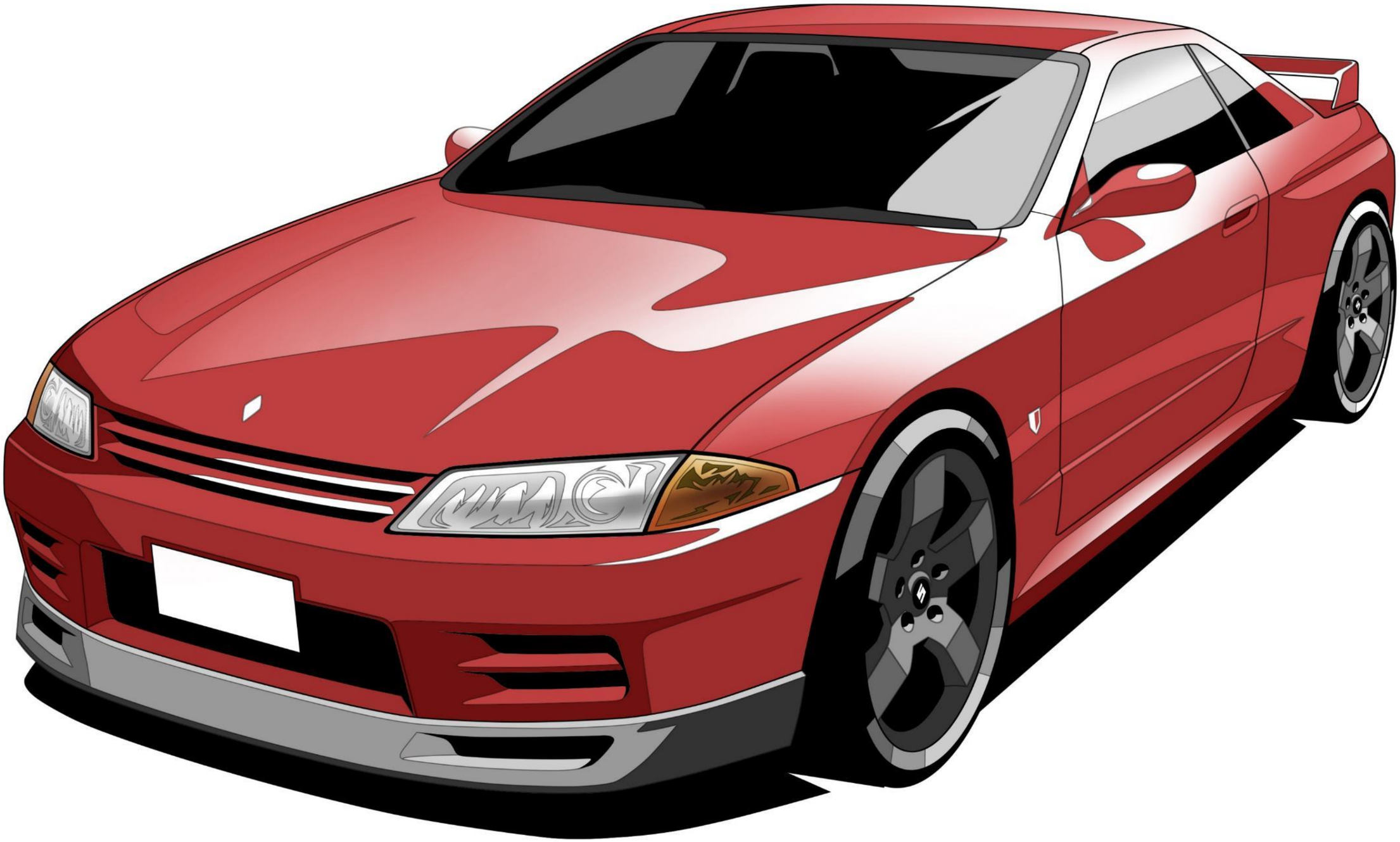
⑤　光があたるところを、白い色鉛筆で ぼかし て塗ってみよう！

パステルや色鉛筆でボカシながら塗ってみよう！リアルに見えてきたでしょ？



完成！

好きな色で塗ってみよう！



ここからのページは、印刷してぬりえの台紙や、見本として使ってね！